

働き方改革への取り組みとその効果とは? ~ワークライフバランスを考える~



Contents

- ・事例① (株)竹屋化学研究所 ……11頁
- ・事例② 野田金属工業(株) ……12頁
- ・事例③ (株)ハタメタルワークス ……13頁

働き方改革とは

働き方改革とは、働く人が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革である。

働き方改革を進める背景として、まず第一に挙げられるのが、労働人口の減少である。日本では少子高齢化が進み、生産活動の中心にいる人口層である生産年齢人口が年々減少している。内閣府によると、2050年には高齢者1人を現役世代1・2人が支える肩車型社会の到来が見込まれている。このままでは将来的に労働力不足に陥り、日本経済の低迷、国力の低下が示唆されている。

この状況を食い止めるべく、出産・育児などを理由に離職した女性や、元気に働ける高齢者などを活用することを目的に、働き方改革の推進が進められている。

また、日本の労働生産性は先進国の中でも非常に低い水準にあると言われており、その原因として挙げられるのが、長時間労働の常態化である。このような環境は労働生産性を

著しく下げるだけでなく、過労死や

鬱病という社会問題にも波及し、まだまだ健康に働ける人材が過労やストレスなどの健康被害によって早期にリタイアすることが、労働力低下の一つの要因ともなっている。

テクノロジーの進化によって、働き方のニーズも多様化している今、働き手のワークライフバランスの実現を目指すことは必要不可欠とされている。

働き方改革に取り組む問題点

働き方改革の推進によって、労働生産性を高める効果が期待される一方で、問題点も存在する。

時間外労働の上限を設け、休暇制度を整えても、業務効率化が進まなければ企業の利益は減少する。いかに短時間で高パフォーマンスを発揮できるかが、ひとつの課題と言えるだろう。そのためには、企業の利

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます